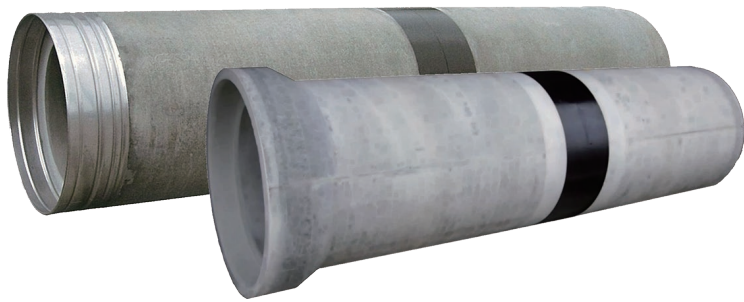


FXパイプ

(公社)日本下水道協会 II類認定資器材

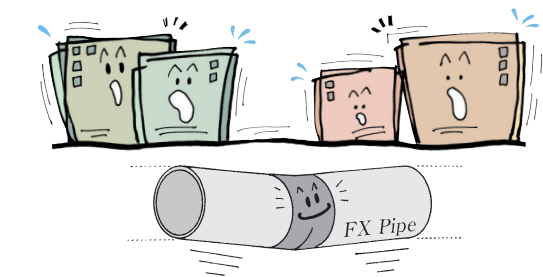


特長

近年、頻発している大規模地震により、下水道施設に大きな被害が発生しています。特に、管路とマンホールの接合部は地震による被害が多く報告されており、(公社)日本下水道協会「下水道施設の耐震対策指針と解説」に可とう継手を設置するように記載されています。FXパイプは、曲げ荷重が発生する推進立坑と地山の境界部に設置し、地震動による管路の損傷を防止し下水管路の耐震性を向上させます。

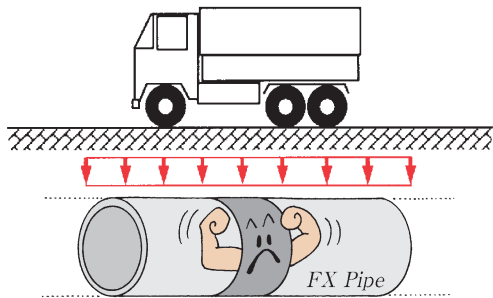
① レベル2地震動に対応

地震時に過大な曲げ荷重が作用した場合、可とう部が屈曲し管の損傷を防ぎます。



③ 常時の土圧では屈曲しません

推進時および常時の載荷重では、屈曲しません。



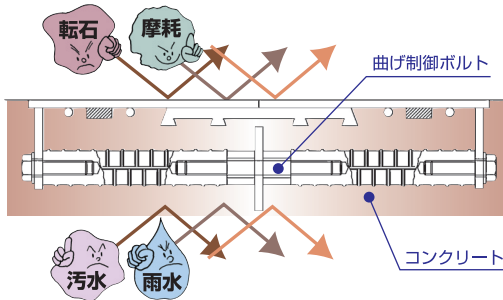
② 優れた水密性能

可とう部の止水性能は、屈曲時においても0.2 (MPa) の水密性能があるので地震時の土砂の流入を防ぎます。



④ 可とう部の性能を恒久的に維持

可とう部品がコンクリートに埋め込まれているので、錆びによる肉厚の変化がなく初期強度を恒久的に維持します。また施工時（推進時）の磨耗や転石による損傷を受けません。



種類

● 外圧用 FXパイプ

継手形状	外圧強さ	呼び径の範囲
B形	1種	600～1350
	2種	
NC形	1種	1500～3000
	2種	

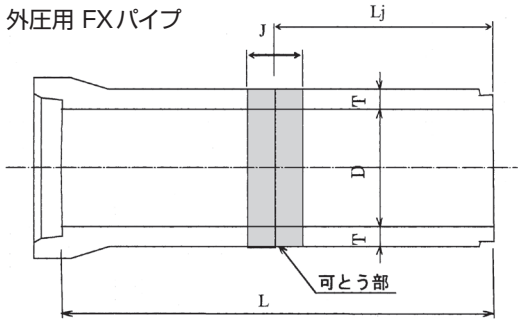
※管の外圧強さは、日本下水道協会規格 JSWAS A-1 に準じます。

● 推進工法用 FXパイプ

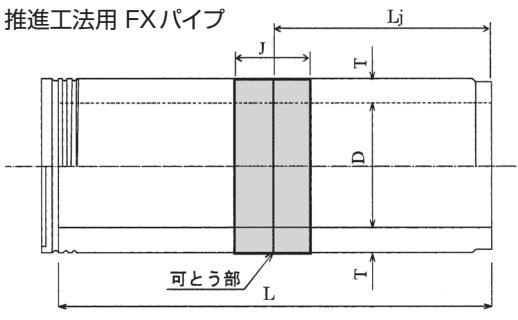
継手形状	外圧強さ	圧縮強度	呼び径の範囲
E形	1種	50	250～3000
	2種	70	
NS形	1種	50	250～3000
	2種	70	

※管の外圧強さと圧縮強度は、日本下水道協会規格 JSWAS A-2、A-6 に準じます。

● 形状 外圧用 FXパイプ



● 形状 推進工法用 FXパイプ



標準規格

● 外圧用 FXパイプ

呼び径	D	T	L	J	Lj
600	600	50	2430	250	450～1950
700	700	58			
800	800	66			
900	900	75			
1000	1000	82			
1100	1100	88			
1200	1200	95			
1350	1350	103	2300	300	650～1650
1500	1500	140			
1650	1650	150			
1800	1800	160			
2000	2000	175			
2200	2200	190			900～1400
2400	2400	205			
2600	2600	220			
2800	2800	235			
3000	3000	250			

※1 管の継手は、600～1350はB形、1500～3000はNC形と同一形状とします。
※2 600～1350の有効長は1200mmとすることができます。
※3 1500～3000の有効長は1080mmとすることができます。

● 推進工法用 FXパイプ

呼び径	D	T	L	J	Lj
250	250	55	2000	250	300～1700
300	300	57			
350	350	60			
400	400	63			
450	450	67			400～2000
500	500	70			
600	600	80			
700	700	90			
800	800	80			
900	900	90			
1000	1000	100	2430	300	450～1950
1100	1100	105			
1200	1200	115			
1350	1350	125			
1500	1500	140			650～1650
1650	1650	150			
1800	1800	160			
2000	2000	175			
2200	2200	190			900～1500
2400	2400	205			
2600	2600	220			
2800	2800	235			
3000	3000	250			

※1 管の継手は、E形またはNS形と同一形状とします。
※2 250～300の有効長は1000mm、350～3000の有効長は1200mmとすることができます。
※3 管の形状は、カラーなしとすることができます。
※4 800～3000は、着脱式の可とう部補強板付き。(推進時用)
※5 SSP (JWAS A8) の場合は、お問い合わせください。

FXパイプ

ボックス
カルバート

パイプ
カルバート

マン
ホール

貯留

貯留・浸透

流量制御
バルブ

雨水活用

災害用
トイレ

水質浄化

新材料

台車運搬

横引き

推進

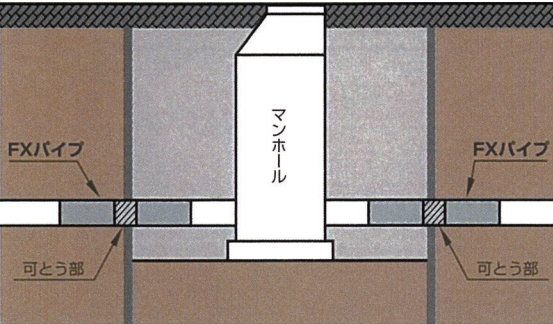
沈埋

地盤改良

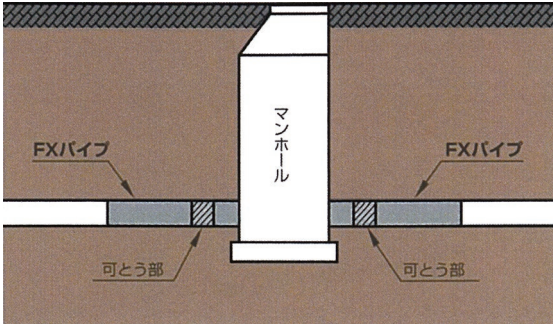
施工事例

管に曲げ荷重が働く箇所にFXパイプを敷設し、管の破損を防ぎます。

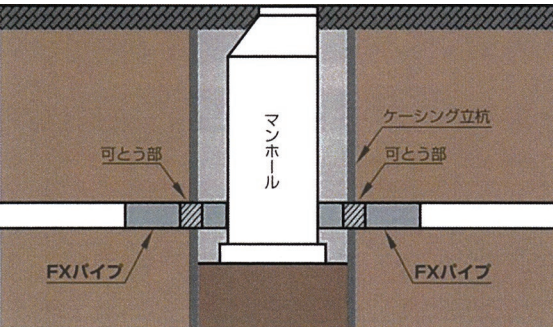
● 土留材を残置する場合



● マンホールとの可とう継手として使用する場合



● 狭いケーシング立坑の場合



● 空伏せ部を360°巻立コンクリートとする場合

